

海外生活 エッセー

ロンドン事務所

Union Chapel でのボランティア活動 (英国)

(一財)自治体国際化協会ロンドン事務所 所長補佐 山口 直美 (三重県津市派遣)

2017年4月、トラファルガー広場近くのロンドン事務所に赴任したばかりの頃、どこを見ても絵になるロンドンの街に感動しつつも、至る所で見かけるホームレスの人の数があまりに多いことがとても気になっていました。ちなみに事務所があるウェストミンスター区では昨年約200人が路上生活をしました。

→ Daylight Music

ロンドンでの暮らしも2か月程が過ぎ、少し生活にも慣れてきた頃、以前から興味があったボランティア活動に挑戦しようと調べたところ、イズリントン区にあるUnion Chapelのウェブサイトを見つけました。活動の内容は、毎週末開催される教会でのコンサートの際に、飲み物やケーキを販売し、その売り上げをホームレス救済に充てるというものでした。参加初日はとてもドキドキしましたが、周りのスタッフにも親切にいただき徐々に緊張もほぐれていきました。Union Chapelではさまざまなボランティア活動が行われていますが、私が参加するDaylight Musicと呼ばれるボランティア活動では、毎週いろんなアーティストが教会内のステージでライブを行います。そこで販売されるケーキやキッシュなどはとても丁寧に手作りされていて、テーブルに

並べると飛ぶように売れていきます。午後のひと時、家族連れや年配のカップル、またお一人での参加など地域に住む方が気軽に音楽を楽しみに来られます。



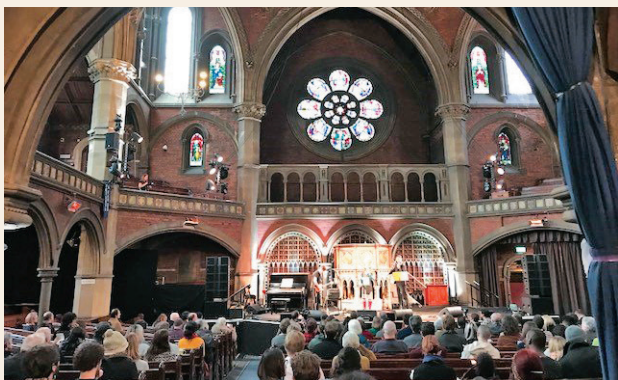
キッチンで手作りされるケーキなど

→ Employment Programme

先日このボランティアで知り合ったプロジェクトマネージャーであるAngela BallantyneさんにUnion Chapelのボランティア運営についてお話を聞くことができました。Union Chapelでは、2013年からEmployment Programmeを導入し、地域のホームレスの人たちを再び社会に戻す活動をしています。このプログラムでは、現在13人のホームレスの方を受け入れ、調理や食事の準備、バリスタの育成や事務管理についてのトレーニングメニューを提供しています。3か月のトレーニングを終えると、プログラム修了証と保健衛生の資格が付与されます。Angelaさん曰く、「でもこのプログラムで一番大切なのは、ホームレスだった人が再び自信を取り戻すこと」だそうです。

英国政府も、この非常事態とも言えるホームレス問題への対応策としてHomelessness Reduction Act (ホームレス削減法案)を改正しました。この改正を受け、イズリントン区はUnion Chapelとも問題解決に向け積極的な意見交換を行っているそうです。

数年前には想像さえしなかった英国生活ですが、偶然出会ったボランティア活動を通して英国の実態を知り、また地域の教会が問題解決に取り組む姿を見られたことは大変貴重な経験となりました。



Daylight Music コンサートの様子